

平成30年度生涯学習センター
事業計画（案）について

(2)協議事項

平成30年度生涯学習センター事業計画（案）について

- ・ 配布資料の生涯学習センター事業計画（案）につきましては、下記の順となっております。
- ・ 網掛の生涯学習センター事業計画（案）につきましては、各センター長より概要を御説明いたします。

① 中央 生涯学習センター

② 東 生涯学習センター

③ 西 生涯学習センター

④ 南 生涯学習センター

⑤ 北 生涯学習センター

⑥ 平石 生涯学習センター

⑦ 清原 生涯学習センター

⑧ 横川 生涯学習センター

⑨ 瑞穂野 生涯学習センター

⑩ 城山 生涯学習センター

⑪ 国本 生涯学習センター

⑫ 富屋 生涯学習センター

⑬ 豊郷 生涯学習センター

⑭ 篠井 生涯学習センター

⑮ 姿川 生涯学習センター

⑯ 雀宮 生涯学習センター

⑰ 上河内 生涯学習センター

⑱ 河内 生涯学習センター

平成30年度 中央生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

市中心部における生涯学習および市民活動の拠点として、多様な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、個々人が持つ知識や能力を地域・社会に還元できる機会や場の提供に努める。

(ア) 変化する社会情勢や話題となっている事柄など、市民ニーズをとらえた魅力的な講座の実施により学習意欲の高揚を図り、これからの社会を考える契機につながる講座の実施に努める。

(イ) ボランティアスタッフの活用など、学習成果や経験を活かす機会を提供して人材の育成に努めるとともに、市民目線による生涯学習の推進に努める。

(ウ) 地域の特性に応じた生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|--|--|---------------------------------------|---------------------------|-----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | 金曜まなび塾 | 行政等が実施する活動や内容についての学習に加え、話題になっている事柄や、社会情勢の変化に対応した情報などを幅広い分野で提供することにより、生涯学習の推進を図る。 | 市内在住・在勤の一般成人 | 7月～ | 11回 | |
| | 修道館アカデミー (Vスタッフ企画運営講座) | 市民目線から現代の社会情勢を的確に捉え、必要とされる生涯学習講座の企画立案から広報、実施までの講座運営を担う機会と場を提供し、生涯学習を推進する。 | 市内在住・在勤の一般成人 | 【前期】 11月 【後期】 2月 | 各4回 | |
| | いきいきシニアアップ講座 | 超高齢化社会に対応するため、健康寿命の延伸や心豊かに安全で安心して年齢を重ねていけるよう、学習機会を提供する。 | 市内在住の65歳以上の一般成人 | 1月～ | 5回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。また、生涯学習サークルや地域活動団体などの活動成果を発表する場として、無料展示スペースを提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | ◎子育て広場 | 子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深めるとともに、仲間づくりや情報交換の場として親子同士の交流を育む。また、子育て相談の機会を提供する。 | 乳幼児(0～6歳)とその保護者 | 5月～ | 10回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 親と子のワクワク体験教室 | 親が子どもと一緒に体験や活動することを通して、子どもの成長を感じ、理解を深めるとともに、他の親子との交流を図りながら、仲間づくりや情報交換の機会を提供する。 | 市内在住の小学生とその保護者 | 7月～ | 5回 | |
| | 子ども映画鑑賞会 | 大きなスクリーンによる優れた映画作品の鑑賞をとおして、子どもたちの豊かな情操と高い映像理解能力を育むとともに、映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。 | 市内在住の小学生 | 未定 | 1回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 地域応援講座 | 地域の实情に沿った講座を地域コミュニティセンターで開催することで、地域住民が地域活動に関心を持つきっかけづくりとする。 | 所管する8地域内の一般成人 | 未定 | 16回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 中央生涯学習センター文化祭 | 中央生涯学習センターを利用する文化団体の相互交流を図り、日ごろの学習成果を発表することにより、参加者のみでなく一般市民へ広く周知するとともに、生涯学習を推進する機会とする。また、担当の地域コミュニティセンターで活動する団体へも参加を促し、交流を図る。 | 中央生涯学習センター利用団体、地域コミュニティセンター利用団体及び一般市民 | 10月 | 1回 | |
| 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | | |

平成30年度 東生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

東部地区における生涯学習の拠点として市民の学習活動を支援するとともに、社会教育やまちづくりなどを通して、地域に学習成果を還元できるような事業を推進する。

- (ア) 多様な市民ニーズや様々な社会情勢、課題に対応した魅力ある事業の展開を図る。
- (イ) 講座企画運営スタッフや地域ボランティアの活動の機会・場の提供を行い、地域の自主的な学習と教育力の向上を目指す。
- (ウ) 地域の各種団体やすぐれた人材と積極的に連携しながら、地域の教育力向上を図る。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|------------------------|---|-------------------------|-----------|-----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | ふれあい塾 (Vスタッフ企画運営講座) | 講座企画・運営ボランティアスタッフ「東泉会」が企画・運営する講座。 受講生同士の話し合いの場を設け”聞く、見る学習の場”から”聴く、考える、話し合う学習の場”を推進する。 | 一般成人 | 5月～12月 | 8回 | |
| | 東雲塾 | 高齢者が明るく健康で充実した生活を送ることができるよう歴史や文化を学ぶほか、軽体操、レクリエーションなどを体験する。 身近な地域について学ぶことにより、地域に対する理解を深め郷土愛の醸成を図る。 | 一般成人 | 6月～H31.1月 | 8回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、収集した生涯学習関連情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | 親子でDoing | 親子の会話、工作や体験を通して親子のスキンシップを図りながら、ものづくりについて学ぶ。 | 小学3、4年生とその保護者 | 6月～12月 | 6回 | |
| | すくすく子育て講座 | 乳幼児の時期に親子のスキンシップを図るとともに、子育ての学習やレクリエーションを通して、受講者同士の交流を深める。 また、子育て相談や子育てに関する知識を学ぶ機会を提供する。 | 就学前の乳幼児と保護者 | 5月～H31.1月 | 12回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | ◎子ども国際理解サマースクール | 外国人留学生と身近に接する参加型の学習を通して、「国際理解・協力」の力を養う。宇都宮大学国際学部との連携事業。 | 小学4～6年生 | 8月 | 3回 | |
| 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動を支援する。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | ★陽東地区地域学講座【CKP】 | 住民主体のまちづくりを推進していくため、地域学講座を開催し、地域理解を深め、地域の課題解決について考えるきっかけとする。 また、まちづくり活動に資する人材を育成する。 | 主として陽東地域在住の方 | | 1回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになることと、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 東生涯学習センター文化祭 | 東生涯学習センター及び地域コミュニティセンター登録団体に学習成果発表の場を提供することにより、親睦を図り、仲間づくりを進め、さらに質の高い生涯学習活動を推進する。 | 東生涯学習センター登録団体及び一般(地域住民) | 10月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 西生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

平成30年度生涯学習センター事業運営の考え方にに基づき、市民一人ひとりが自己の自立と社会の一員であることを意識し、社会参加への意欲を高め、学んだ成果を地域につながるきっかけになるよう、個人の要望と社会の要請に応える事業のバランスに配慮しながら、関係部局や関係機関等と連携し、地域特性を生かした多様な事業を推進する。

(ア) 激しく変化する社会環境の中においても、市民が心豊かに生活できるような趣味・教養的講座及び、仲間づくりにつながる講座、生活課題の解決に資する講座を実施する。

(イ) 地域と家庭の教育力の向上のため、地域の人々と子育て世代の親やその子どもたちが交流する機会、次世代を担う青少年と子育て世代の親子が交流する機会、また子育て世代の親同士が交流する機会を充実させた親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。

(ウ) 地域社会を支える人材育成と学習成果の活用の促進を図るため、館外学習の機会などを設け、地域の持つ魅力や課題に気づききっかけとする講座を実施する。また、地域と連携し、地域課題の解決に資する講座を実施する。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, **ゴシック体**:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | | | | |
|----------------------------------|--|---|---|---------------------------|--------|----|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | シニア快活！元気講座 (Vスタッフ企画運営講座) | 体を動かしたり、脳を活性化していくさまざまな参加体験型学習をとおして、体と心をリフレッシュしていくとともに、受講者同士の交流・仲間づくりをとおして、シニア世代がいつまでも元気で快活に過ごすことに繋げる。 | 50歳以上の成人 | 6月～12月 | 6回 | |
| | 西薬アカデミー | 健康づくりや現代の生活に必要な知識の向上に関する学習を行うとともに、運動を伴ったレクリエーションや創作活動、館外学習を通して受講者同士の交流を深める。 | 一般成人 | 6月～12月 | 8回 | |
| | 宇都宮再発見！ | 宇都宮に関する歴史や文化を学ぶことにより、自分の住むまちへの愛着を深めるとともに、まちづくりを担うなど地域社会を支える人材を育成する。 | 一般成人 | 6月～9月 | 4回 | |
| | ふれあい映画会 | 心に残る傑作映画を視聴することにより、豊かな感性を醸成していくとともに、これまで生涯学習センターを利用したことが無い様な市民など、より多くの地域住民に生涯学習への関心を抱いてもらう。 | 桜・富士見・明保地域内の方 | 8月 | 1回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、収集した生涯学習関連情報を市民に提供していく。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| | ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | |
| | | すくすく子育て講座 | 子育ての学習やレクリエーションを通して親子のふれあいを深め、仲間づくりや子育ての情報交換の場となるよう子育てを支援する。 | 1歳～3歳の幼児とその保護者 | 6月～12月 | 6回 |
| | | ★◎親子トライ&ゴー | 工作や館外学習など様々なアクティビティを通し親子の絆を深めながら、生活に役立つ知識や子どもの心を育む技術を学習・習得することにより家庭の総合的な教育力の向上を図る | 小学校1年生～3年生とその保護者(市内在住・通学) | 6月～10月 | 5回 |
| 青少年対象 | | | | | | |
| 子ども映画会 | | 夏休み期間中にアニメーション映画を上映することで、映画への興味関心を高めるとともに、子どもの豊かな情操を培っていく。普段生涯学習センターを利用していない幼児児童とその保護者に生涯学習への関心を高めていく。 | 主に桜・富士見・明保地域内の幼保児童及びその保護者 | 8月 | 1回 | |
| わくわくサマースクール | | 夏休みを利用して普段なかなかできない様々な体験学習をとおして好奇心や創造力・思考力を培う。また他校の仲間との交流を深め、地域性を生かした館外学習を行い社会性を育てる。 | 市内小学校4～6年生 | 7月～8月 | 5回 | |
| 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | | |
| 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | 地域理解の促進 | | | | |
| | | 地域コミュニティの促進【CKP】 | 地域のニーズに沿った課題の解決と地域住民のコミュニティの関りの強化。 | 富士見地区住人対象 | 2月 | 1回 |
| | ★NPO理解促進講座【CKP】 | 明保地域まちづくり活動での課題解決手法の研究 | 明保地区住人対象 | 未定 | 1回 | |
| | わがまち桜地区の魅力を知ろう！【CKP】 | 自分たちが住むまちについてより一層理解を深め、地域への愛着心をより高めるとともに、まちづくりのさらなる推進を図る。また、大人が子どもや青少年への地域の魅力を伝達していくような機運を醸成し、次世代のまちづくりを担う人材を育てる。 | 桜地区住人対象 | 2月 | 1回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 西生涯学習センター文化祭 | 西生涯学習センター利用者などの各種団体や地域・学校・企業が一体となって事業を展開することにより、特色ある地域文化の向上ならびに生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。 | 西生涯学習センター利用者及び一般市民 | 11月 | 1回 | |
| 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | | |

平成30年度 南生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

「平成30年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、地域住民の生涯学習ニーズや全市的な課題に応じた学習支援をするとともに、地域の学習情報拠点としての充実を図る。

(ア)住民主体のまちづくりが円滑に進むための支援事業に取り組む。

(イ)増加する高齢者の生きがい創出につながる講座や、子育て世代の不安を解消し、親子双方の成長を促す講座、豊かで実りある生活設計のための講座など、多様な学習の提供を図る。

(ウ)地域でのボランティア活動や、地域のまちづくり活動を支援し、学習の成果や経験を活かせる機会と場の提供などに努める。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|------------------------------|--|---------------------------|---------|----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | 男の料理講座 | 男性に、料理の学習機会を提供し、食生活に興味関心をもってもらうとともに、料理を作る楽しみを知り、参加者どうしの交流をはかる。 | 市内に在住か通勤している成人男性 | 5月～7月 | 3回 | |
| | ◎シニアセミナー南悠塾 | シニア世代の受講者が、交流をはかりながら教養を深め、充実した毎日を過ごすことができるような学習を行う。 | 市内在住の60歳以上の成人 | 6月～12月 | 6回 | |
| | プロ直伝「おいしいドリップ珈琲入門」講座 | 一般家庭でも馴染みのある珈琲についての知識を深め、家庭でもおいしく淹れることの出来る方法を身に付ける。 | 市内に在住か通勤している成人 | 4月～6月 | 3回 | |
| | 情報収集・提供 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | すくすく子育て応援講座(前期) | 親子の触れ合いを深めて、同じ立場にいる親同士が育児の悩みや楽しさを分かち合いながら仲間づくりやお互いの交流を図る。 | 市内在住の首がすわった1歳前後の子どもとその保護者 | 5月・6月 | 2回 | |
| | すくすく子育て応援講座(後期) | 親子で体を使ったリクレーションの機会を持ち、読み聞かせの手法や、本選びを学ぶことで、いきいきした親子関係をはぐくみ、子育て世代の仲間づくりのきっかけとする。 | 市内在住の2～3歳児とその保護者 | 10月・11月 | 2回 | |
| | ママのアンガーマネジメント入門講座(対象:未就学児ママ) | 子育て中の母親が感じているイライラに上手に対応する方法を学び、よりよい親子関係の構築へのきっかけづくりを目指す | 市内在住の未就学児の保護者 | 5月 | 2回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 親子で科学体験講座 | 機械を使って、身近な物を観察し、専門家の話を聞くことで、理科離れが言われる子どもたちに、科学に関心を持ってもらう。また、夏休み応援講座の一環として、親子の交流を図る。 | 小学校3～6年生の児童とその保護者 | 8月 | 1回 | |
| | 親子で学ぶ読書感想文の書き方講座 | 夏休みの読書感想文の書き方を親子で学ぶことにより、親子で一緒に読書の楽しさを学び、本に親しむ心を育む。 | 小学校3・4年生の児童とその保護者 | 7月 | 1回 | |
| | 親子で楽しむ料理講座 | 簡単に出来る料理を、親子で協力しながら作ることで、親子の交流をはかり、食生活に興味関心をもってもらう。 | 小学校1～3年生の児童とその保護者 | 8月 | 1回 | |
| | プログラミング入門講座 | 2020年度より小学校で必修科目となるプログラミングの基礎を学び、創造力・問題解決能力・論理的思考力を身に付ける一助とする。 | 市内在住の小学生 | 8月 | 4回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 成人式 | 新成人が地域住民とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 南生涯学習センター文化祭 | 地域住民やセンター利用者が一致協力して、関連事業を展開することにより、特色ある地域文化の発展並びに生涯学習の理解と推進、地域住民の連帯意識の向上を図る。 | 南生涯学習センター利用団体及び一般市民 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 北生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

地域に居住する一人ひとりが生きがいが高められ、充実した日々を過ごすことができるよう継続的に学んでいくための機会の提供や、今後とも地域の活力が持続されるよう子育て、環境、まちづくりに関わる人材育成など地域が持つ課題に対応した事業の実施を図る。

(ア) 現代社会に適応できる知識の習得と社会への参画や人との交流を促していく講座を開催するとともに、感受性や受容性など情緒を養うといった人間力を高められる講座を実施する。

(イ) 人づくりの基本となる愛しみや思いやりなどを夫婦がともに高められる講座の実施や、子どもたちがコミュニケーション力や知的探究心、創造性などにより、問題解決を図っていきけることを学ぶ体験活動等を行う。

(ウ) 地域を構成する自然、歴史、まち並みなどの成り立ちを学習する講座を行い、地域への愛着を深めるとともに、住みやすい、より良い地域としていくための発展的課題を気づかせる講座を行う。

★:平成30年度新規事業、◎:平成30年度重点事業、ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座、【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | 事業の概要 | | | | |
|----------------------------------|-----------------------|--|--------------------------|-----------------------------|------------------|----|
| | | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | 北洲塾 (Vスタッフ企画運営講座) | 社会の要請や新たな課題等を踏まえ、誰でも楽しめ、座学や体験を通して学んだものを地域社会や日常生活に生かせるようにする。 | 一般成人 | 5～12月 | 8回 | |
| | 聴いて読む名作 | 文学作品を講師の朗読で鑑賞し、作品をより深く味わうとともに、心豊かな人生につながるよう新たな感じ方・捉え方を学ぶ。 | 一般成人 | 9～10月 | 3回 | |
| | 和文化入門講座 | 国際化の流れの中で自国の文化を知り、和の心をもったコミュニケーション能力を養うとともに、楽しく日本文化の粋に触れる。 | 一般成人 | 5～6月 | 5回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | ◎新・家族応援講座Ⅰ・Ⅱ | 未就学児を持つ親への子育て支援を行う。幼児期に育てたいことや親としての心得等について、専門的知識を有する講師の指導を受けながら学ぶ。また、小学校入学前までに家庭で行っておきたい躾や小学校教育の概要について学び、早い時期からゆとりをもって家庭教育に取り組めるようにする。 | 未就学児を持つ親 ・前期・後期で別々に募集 | 【前期】6月 【後期】10月 | 【前期】3回 【後期】2回 | |
| | 親子でチャレンジ | 親子が一緒に様々な体験活動(伝統工芸品作り、ランチ作り)を行い、互いを認め合い尊重し合いながら親子の絆を深めるとともに、参加者同士の交流を図り、社会性の拡大を図る。また、「ランチ作り」では、世界の国々の食に視点を当て、食文化を通して国際理解に触れる機会とする。 | 小学1～3年とその親 | 7～8月 | 2回 | |
| | 北生涯学習センター親子自然探検隊 | 地域の未来を担う世代(子育て世代とその子ども)が、地域の里山保全グループと交流しながら自然に親しむことを通して、生物多様性の大切さを知り、守ることを知る機会とする。 | 小学生以下の子どもとその親 | 4・6・9・11・1月 | 5回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 青少年リーダー養成講座 | 企業等の活動を学ぶことを通して職業観を養うとともに、協調性・たくましさ・思いやりのある心豊かな人間性や社会性を育み、次世代を担う地域のリーダーとしての資質を養う。 | 戸祭地区の青少年 | 8月 | 1回 | |
| | 子ども映画鑑賞と昔あそび体験講座 | 映像からの学びとともに、普段体験できない昔遊びを体験することで子供たちの情操教育を図る。さらに、センターを地域の身近な施設として感じてもらうきっかけとする。 | 小学生以下の子どもとその保護者 | 7月 | 1回 | |
| 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | ◎地域を学ぶ1, 2 | これまで地域内の歴史、地理、自然、産業とそれらを支える人々について学んできたことをベースに、30年度は近隣の地域との繋がりがから新たな資源の発見を促す。 | 一般成人 ・1, 2で別々に募集 | 5～6月 (2回) 10月 (2回) | 4回 | |
| | 戸祭地区地域学講座【CKP】 | 戸祭地区地域ビジョンの策定に向けた意識の醸成を図るため、地域学講座を開催し、フィールドワークやワークショップを通して地域理解の促進やビジョン策定等の地域まちづくり活動に資する人材を育成する。 | 戸祭地域に住む小学生以下の子どもとその保護者 | 7～8月 | 2回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 北生涯学習センター文化祭 | 北生涯学習センターを拠点に活動している団体等の学習成果の発表の場を提供する。 | 北生涯学習センター利用団体及び一般市民 | 9月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 平石生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

平石地区においては、地域の各種団体や小中学校等と共催した事業をおこなっているが、全般的に活動従事者の固定化、高齢化が顕著であり、新たな人材の発掘・育成が急務となっている。こうしたことから、子どもから高齢者に至るまで幅広い世代を対象に、地域の魅力や地域の課題、さらには現代的課題への関心の喚起を促し、地域活動への参加や地域リーダーとしての育成に結びつくような事業の充実を図る。
さらに、当地区は、保健福祉の拠点地区としての利点を活かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループとが連携の下、石井・陽東地区との融合を図った事業を展開していく。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|-----------------------|---|------------------------------|--------|-----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | 大人の教養講座(Vスタッフ企画運営講座) | 平石地区の歴史や伝統文化を学び、郷土をより深く探求するとともに、受講生同士の交流をとおして、仲間づくりに繋げる。 | 地域内に居住する成人等 | 7月 | 2回 | |
| | 高齢者友遊教室 | 高齢者にふさわしい講話、趣味や教養を身につけるための学習、異世代間交流などの機会を創出する。 | 地区内の高齢者 | 5月～2月 | 10回 | |
| | 高齢者指導者研修 | 地域リーダーとしての資質の向上や後進の指導者育成を行う。 | 地区内の高齢者 | 6月 | 1回 | |
| | 女性指導者研修 | 地域リーダーとしての資質の向上やまちづくり活動の推進を図る。 | 地区内の女性 | 7月 | 1回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | 親子ふれあい講座 | 連続した講座を開催することにより、母親相互の交流を図るとともに、親子が一緒に遊びや体操を行なうことで幼児期に必要な親子の関わり方を学ぶ。 | 地区内の2～3歳の幼児を持つ親とその子 | 7月 | 3回 | |
| | ◎親子の広場「はぐはぐ」 | 子育て中の親とその子どもを対象に「つどいの場」を週1回開催、サポーターが話し相手になる。月1回子育て支援事業を実施する。 | 地区内の主に乳幼児(0～3歳)を持つ子育て中の親とその子 | 4月～3月 | 40回 | |
| | 家庭教育セミナー | 成長著しい小学生の子を持つ親を対象として、子どもの「生きる力」を育むための知識や技術を身につける。 | 地区の親又は家庭教育に関心を持つ人及び児童、生徒 | 6月～10月 | 3回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 少年ふるさと教室 | 様々な体験活動を通して、仲間との関わりを深め、生きる力を育むとともに、地域資源の発見や異世代との交流を通して、リーダーとしての資質向上を図る。 | 地域内小学生 | 8月 | 2回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることで、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 平石地区文化祭 | 小学生の作品展示、及び平石生涯学習センター利用団体による学習成果の発表。また、参加することにより、地域住民との連帯意識高揚を図る。 | 平石生涯学習センター利用団体及び一般市民 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 清原生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

少子高齢化や核家族化の進行など社会環境の変化に伴い、住民のコミュニティ意識の希薄化、地域まちづくりへの理解・担い手の低迷など、まちづくり・人づくりに係る課題について、地域自らが主体的に解決を図れるよう、清原地区における以下のような特性を踏まえ、的確な学習機会の提供を図ることとする。

○ 「ゆいの杜地区」の開発が進み、若年層(子育て世代)を中心に人口が急増している中、子育て世帯の不安解消や地域との絆づくりなどをおし、地域のコミュニティ形成の促進、家庭や地域の教育力の向上を図るために必要な事業を展開する。

○ また、既存団地などにおいては住民の高齢化も進んでおり、さらには間近に迫ったLRT導入を見据えた地域内交通の充実など、新たなまちづくりに取り組んでいく必要がある。こうした地域の変化に伴う課題に適切に対応するために、地域の特性や各世代における住民の学習ニーズを的確に把握し、地域団体や地元大学、企業等との連携など地区内の社会資源を活用して、地域課題の解決、人材育成に資する事業の充実を図ることとする。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|-----------------------|--|--|----------------------|----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | 青少年指導者・育成者研修会 | 地域ぐるみで子どもを育てる意識を醸成し、指導者としての資質を向上させるとともに、地域を構成する各団体とのより一層の連携・協力を図り、地域づくりを推進する。 | 地域内青少年育成関係者 | 5月 | 1回 | |
| | 情報収集・提供 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | ◎ふれあい子育て広場 | 保護者の家庭教育力の向上を図るため、親子遊びの体操などを通じたスキンシップなど、幼児期の成長に役立つ赤ちゃんとの関わり方、母親自身の心と体の健康等について学び、子育てに必要な知識を習得し、子育ての不安を解消するとともに、交流する親同士の子育てネットワーク作りの推進を図り、保護者が自信を持って子育てができるようにする。 | 0歳～未就園児とその保護者 | 6月 9月 12月 | 7回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | チャレンジ遊び塾 | 子どもを対象に日常生活では体験できない「遊び」を通じて、自然のすばらしさ、学ぶ楽しさを経験してもらうことで、豊かなチャレンジ精神を育む。 | 地域内小学生とその保護者 | 4月 7月 8月 2月 | 5回 | |
| | 地域体験キャンプ | 青少年育成協議会、地域学校園協議会、センター共催による実行委員会を組織し、地区内の青少年育成に関わる指導の横断的な連携により事業を実施する。 参加者は、キャンプを体験することで、年齢・学区を越えた仲間との出会い、地域の大人との出会い、地域にある資源への気づきなどを通じて、我がまち「清原」を体感し、「郷土愛」、「仲間の大切さ」や「出来る自分」を認識することで、子どもたちのチャレンジ精神や郷土に対する誇りと愛着を育む。 | 地域内小学4～6年生 | 8月 | 1回 | |
| | 企業体験教室 | 子どもを対象に清原工業団地の企業と連携した工場見学会等を実施し、「日本のものづくり」の偉大さを感じてもらうとともに、日本を代表する企業が地域にあることの“誇り”を持つことで地域の将来を担う子どもの地域愛を育て、地域づくりの推進につなげる。 | 地域内小学生 | 7月 | 1回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 地域リーダー研修会 | 地域のまちづくり活動を推進するため、地域活動や課題解決のための知識・情報を提供することにより、地域リーダーの資質向上を図る。 | 清原地区内の指導者 自治会長、自治公民館長、地域まちづくり組織の役員等 | 通年 | 随時 | |
| | 成人式 | 新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1回 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 清原地区文化祭 | 清原生涯学習センターの利用団体が、日ごろの成果を発表することにより、文化活動の向上と生涯学習を推進する機会とする。 | 清原生涯学習センター 利用団体 | 10月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどに取り組みながら、相談者のニーズに応じた学習活動を実施する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 横川生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

地区の中心部が農村地域、周辺部(東部・西部)が住宅地域となっている横川地区は、市中心部にも比較的近いことから、近年は人口及び世帯数の増加が見られ、特に若年層の割合が本市平均と比べると高くなっていることから、連帯感の醸成などが身近な課題となっている。
このような状況を踏まえ、平成30年度においては、以下の考え方にに基づき、事業を展開していく。

- (ア) 地域学を通して、地域に係る様々な課題等を地域住民が連帯して解決する機運を醸成する。
- (イ) 若年層が増加している状況を踏まえ、若年層で関心の高いテーマを選定した講座を開催し、生涯学習への意欲の醸成を図る。
- (ウ) 子どもを心豊かで健やかに育むとともに、親が子育ての知識や技術を身につけるための講座を実施することにより、地域家庭の教育力の向上を図る。
- (エ) 地域の高齢者向けの講座を開催し、健康で生きがいのある豊かな生活を送ることができるよう支援する。
- (オ) 生涯学習講座の支援を通して、まちづくり活動を担う人材を発掘し、その育成や活用に努める。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|-----------------------|---|-------------------------------|--------|----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | ことぶき塾 | 人生の後半を豊かに生きるためには、人生の前半では排除しがちであった「自己」と向き合い、再認識することで、本当の自分を見つめなおすことが必要だと言われている。エンディングノート作成などをおして、あらためて今までの自分自身を振り返り、今後は自己の認識を深めながら、より豊かで健康な時間を過ごすことができるよう学習する。 | 横川地区の住民 | 6月～12月 | 6回 | |
| | 輝いた人生を手に入れよう | 若年層が抱えがちな課題等に焦点をあてた講座を実施する。 | 20代から40代の住民 | 9月 | 1回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | 子育て広場 | 乳幼児期の大切な時期に親子のスキンシップを図り、リズム体操やレクリエーション、必要な技術の習得等を通して、親子双方の育ちを図るとともに、同じ子育て世代同士が知り合う場、情報交換の場として支援する。 | 2・3歳児とその保護者 | 6月～1月 | 9回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 子どもチャレンジ教室 | 児童が同年代の子どもたちと「体験活動」を通して仲間意識を育みながら、創意工夫する力を身に付けるとともに、規範意識や道徳心の醸成、勤労観の育成等の支援を図る。 | 小学生とその保護者 | 7月～9月 | 7回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | ★◎横川地域学講座【CKP】 | 地元横川の魅力をそれぞれが再発見することなどを通して、地域ビジョン策定に伴う今後のまちづくりに対する意識の醸成を図る。 | 横川地区の住民 | 9月～1月 | 3回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 横川ふれあいまつり(文化祭・農業祭) | 横川生涯学習センター利用団体や地区内の小中学校及び各種団体が一体となり、特色ある地域文化の向上、農業の振興、生涯学習の推進、主体的な地域づくりの推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。 | 地区内の小中学生、横川生涯学習センター利用団体及び一般市民 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 瑞穂野生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

瑞穂野地区においては、まちづくり協議会を組織する各種団体が中心となりさまざまな活動を展開している。
 また、新たな住宅団地が形成されたことで若い世代の人口が増加していることから、子育て支援や地域との絆づくりを迅速、着実に推進する必要がある。
 一方で、少子高齢化や核家族化の進行により、地域コミュニティの希薄化なども目立ってきており、生活の核である家庭の重要性とともに、地域内の結びつきの必要性が一層高まってきている。
 こうしたことから、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、地域住民が健康で生き生きとした生活ができるよう、また、学んだ成果が地域活動に結びつきかけとなるような事業の充実を図りながら、地域課題解決に向けた講座を展開する。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|--|--|-------------------|----------------|----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | ◎地域学「みずほの」(Vスタッフ企画運営講座) | 地域の歴史や文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。 | 地区内に居住する一般成人 | 12月 | 2回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | なかよし親子の広場 | 幼児期の成長に必要な遊びや体験を通して、親子のふれあいを深めるとともに、親子双方の育ちを支援する。また、子育てに必要な知識の習得と子育ての不安を解消し、地域の子育て支援機能の充実を図る。 | 就学前の幼児と保護者 | 6月, 7月 | 4回 | |
| | 子育てはっぴー講座 | 乳児期の大切な時期に親子のスキンシップや学びを通して、家庭における子育て力の向上を図るとともに、親同士の子育てネットワーク作りの推進を図る。 | 乳児と保護者 | 8月 | 2回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 少年ふるさと教室 | 体験活動等を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。 | 地区内小学生 | 5月, 1月 | 2回 | |
| | 親子チャレンジ教室 | 家庭で子どものしつけや教育を行うために必要な考え方や育て方について、専門家や地域のボランティアによる指導を受け学習の場とする。 親子でいろいろなことにチャレンジしながら、受講生同士の交流を通して、気軽に話し合える場を設け子育ての一助とする。体験活動等を通して、リーダーとしての資質向上と育成を図る。 | 地区内小学生とその保護者 | 8月, 10月 12月 | 4回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 【再掲】地域学「みずほの」(Vスタッフ企画運営講座) | 地域の歴史や文化などを学ぶことにより郷土への関心や愛着心を高め、地域の魅力や課題に気づききっかけを作るとともに、まちづくり意識の高揚と地域リーダーの育成を図る。 | 地区内に居住する一般成人 | 12月 | 2回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 【みずほのフェスティバル】瑞穂野生涯学習センター文化祭(同時開催:農業祭・福祉まつり) | センター利用団体の学習成果の発表、小中学生の作品展示等の生涯学習の推進及び特色ある地域文化の向上発展、地域による主体的な地域づくりの推進、並びに地域住民の連帯意識の高揚を図る。 | 地区内一般成人等・センター利用団体 | 11月 | 1回 | |
| 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | | |

平成30年度 城山生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

第3次宇都宮市地域教育推進計画に掲げる基本理念の実現のために、個人の興味や関心による学習活動への支援を継続しつつ、変化する社会環境の中で早急に取り組むべき課題に対応するため、地域と連携した人づくりや地域づくりの講座や、家庭・地域の教育力の向上、地域資源の持つ魅力や課題に気付くきっかけとなる講座を実施し、学習した成果を地域活動などに活かし、地域を支える人材育成につながる事業に取り組む。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|-----------------------|---|----------------------------|----------------|-----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | ヒトマチづくり講座 | 地域におけるまちづくりの課題を抽出し、解決の糸口となるようなきっかけづくりを行い、地域で活躍できる人材の育成を図る。また、実践的な活動を通し、地域まちづくり意識の高揚を図ることを目指す。 | 地区内住民 | 2月 | 1回 | |
| | 地域学講座 | 地域に目を向け、豊かな自然や文化財などの地域資源を知ることによって地域の持つ魅力や課題に気づききっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。 | 市内に住んでいるか通勤、通学している人(小学生含む) | 7～8月 | 4回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | ◎ともそだち広場 | 乳幼児の保護者と乳幼児が季節の行事やレクリエーションを通して、親子のふれあいや人との関わりを学ぶ。また、子を持つ親同士が地域、行政と連携して、ネットワークを構築し、地域との絆や人と人との繋がりを持てるように、親子の育ちを支援していく。 | 0～3歳までの乳幼児とその保護者 | 4月～7月 9月～2月 | 10回 | |
| | 生き生きセミナー(Vスタッフ企画運営講座) | 家庭における子どもの教育に必要な知識・技術を学ぶとともに、受講者同士の交流を通して子を持つ親同士のネットワーク化を推進するとともに幅広い年齢層と交流することで、家庭教育力の向上と健全な子育てを支援する。 | 地区内小中学生の保護者及び一般成人 | 6～7月 | 2回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 親子でにこにこクッキング | 命の源である食に対する興味や健康への関心を高め、親子で調理することにより、親子の絆を深める。また、地場産の食材を活用し、地域への関心を喚起する。季節の野菜を食材とすることで、季節を感じる豊かな心を育む。 | 地区内の小学生と保護者 | 9月, 12月 | 2回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 【再掲】地域学講座 | 地域に目を向け、豊かな自然や文化財などの地域資源を知ることによって地域の持つ魅力や課題に気づききっかけづくりを行い、郷土愛の醸成と次世代に継承するための住民意識の高揚を図る。 | 市内に住んでいるか通勤、通学している人(小学生含む) | 7～8月 | 4回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 城山生涯学習センター文化祭 | 地域住民の自主性と創意によるコミュニティ活動を促進し、特色ある地域文化の向上発展と生涯学習の推進、地域住民の連帯意識の高揚を図る。 | 城山生涯学習センター利用団体及び一般市民 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 国本生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

「平成30年度生涯学習センター事業運営の考え方」に基づき、主に地域人材と地域資源を活かして、「地域で活躍できる人づくり」と「絆づくり」を目的とした事業に取り組む。

- (ア) 社会の要請に対応した事業の実施と人間力の向上と地区づくりに資する事業の充実
- (イ) 地域の人材と資源を活用した地域の魅力を発見できる事業と市民の生活課題に対応した事業の実施
- (ウ) 親子や地域の人同士の絆を深めながら、仲間づくりなど参加交流機会を図る事業の実施

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|-----------------------|---|----------------------|--------|----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | びびっと！レディース教室 | 女性としてより生き生き(vivid)と輝き、心身ともに美しく、人間力ある健康で豊かな生活を営める自分を再発見する機会を提供しながら、女性同士の交流の輪を広げ、さらに女性にできる地域のまちづくり活動にも繋げる。 | 地区内在住の一般成人女性 | 10・11月 | 2回 | |
| | 生き生き健康教室 | 「心身の健康」をテーマに、それぞれの年齢に応じた生きがいのある元気で生き生きとした生活を営むために必要な知識と体力を身につけるとともに、交流を通じて地域の絆を深め合う。 | 地区内在住の一般成人 | 5～7月 | 4回 | |
| | ★◎荒井退造に学ぶ | 郷土の偉人の生き方や考え方を通じ、平和の尊さ、責任感等を学ぶことにより、人間力の向上を目指す。 | 一般成人 | 7月 | 1回 | |
| | ★高齢者安心生活講座【CKP】 | 高齢者が安心して生活できるよう、国本地区づくり振興会と連携し、さまざまな生活課題解決に資する講座を開催する。 | 地区内在住の高齢者 | 12月 | 1回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | 親子ワクワク教室 | 親子で様々な体験等を通して絆を深めるとともに、同世代の親や子どもと繋がりをもち、子育ての悩みや知識を共有することで、家庭や地域内での子どもに対する教育力の向上や互いの人間形成に役立てる。 | 地区内在住の未就園児とその保護者 | 6～12月 | 6回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | くにもとyou・遊・club | 国際化社会の進展や2020年の東京オリンピック開催に向けた外国人との交流機会の増加が見込まれる中、将来を担う小学生に対して外国の言葉や生活習慣、文化に触れてもらうことにより、国際感覚や多文化共生意識を身に付けてもらうとともに、併せて人権意識の醸成を図る。 | 地区内在住の小学生 | 11月 | 2回 | |
| | 夏休みチャレンジ教室【CKP】 | 地域内の大学と連携を図り、小学生の夏休みの宿題に役立つ絵画や工作などをグループで学ぶことにより、他学年、他校の児童と交流し、仲間作りの場とする。 | 地区内在住の小学生 | 8月 | 2回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | ◎10倍楽しむ国本塾 | 国本地区の貴重な資源である宝木用水をテーマに、小学生の研究発表や地区で作成した宝木用水の冊子を活用した講座など、幅広い世代やより多くの方々に地域の歴史に興味を持ってもらうきっかけを作る。 | 地区内在住の一般成人 | 2月 | 2回 | |
| | ★地域の歴史・文化再発見講座【CKP】 | 地域の人材を講師とした地域ならではの歴史・文化資源についての講座を開催することで、地域の方々に改めて地域の良さを見直してもらい、郷土愛を醸成するとともに、地域の歴史・文化の伝承に向けた人材の育成を図る。 | 地区内在住の一般成人 | 5月 | 3回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 国本生涯学習センター文化祭 | センター利用団体の学習成果の発表の場を提供することで、文化活動の向上と生涯学習を推進する。 | 国本生涯学習センター利用団体及び一般市民 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 富屋生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

富屋地区においては、まちづくり連絡協議会を核とした地域主体の事業展開がなされており、これを継続するため、今後も「住民主体のまちづくり」を推進していくための人材育成が、一層求められている。
 こうしたことから、平成30年度においても、住民自らが地域に目を向け、地域の持つ魅力や課題に気づく契機とするための地域学講座への参画を通して、地域社会を支える「人づくり」を推進するため生涯学習事業の充実に努める。
 また、当センターが保健福祉の拠点であるという特徴を生かし、まちづくり支援グループと保健福祉グループが連携を図り、育児講座など特色ある事業を展開していく。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|------------------------|---|-------------------------|----------------|----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | 高齢者教室 | 高齢者相互の親睦とふれあいを広め、様々な課題に取り組むことにより教養を高める。 | 地区在住者 | 4月, 7月, 8月, 9月 | 4回 | |
| | 健康づくりハイキング | 健康な体づくりや各世代間の交流による地域コミュニティの形成 | 地区在住者 | 5月 | 1回 | |
| | ◎とみや女性学 | 富屋地区の女性への教養, 学習の場の提供を通し, 地域のネットワークを広げるとともに, 女性の力で地域力アップを図る。 | 地区在住の成人女性 | 6~11月 | 6回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し, 生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため, 学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに, その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | 親子ふれあい教室「富屋ママたち広場」 | 乳幼児とその保護者を対象に, 遊びや体験を通して, 親子のふれあいを深めるとともに, 親同士のネットワークを促進し, 家庭・地域における子育て環境の支援を図る。 | 地区の乳幼児の保護者, 家庭教育に関心のある人 | 6~11月 | 6回 | |
| | 家庭教育学級 | 家庭における子供の教育のために必要な考え方や育て方についての知識や技術を学習する。 | 富屋地区在住者 | 6月 10月 | 2回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 少年ふるさと教室 | 子どもたちの自主活動を促進させるとともに, お互いの親睦を図り, 団体活動を通して責任と協力の大切さを体得させ, 併せて伝統文化や自然に対する学習機会を提供し, 健全育成に資する。 | 富屋小学校児童等 | 8月~1月 | 7回 | |
| | 考える力アップ講座(Vスタッフ企画運営講座) | 新しい面白さを発見できる実験やものづくりを通して, 子どもたちが自ら考え, 身の回りにあふれる科学に対する好奇心を高める。 | 富屋小学校児童等 | 9月 11月 | 2回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など, 地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | とみや再発見 地域ガイド養成講座【CKP】 | 「住民主体のまちづくり」をさらに推進するため, 地域住民が専門家の講義やグループワークを通して, 自分の住む地域の特徴を理解し, 地域の魅力や課題に気づくとともに, 中長期的な地域のあるべき姿を考える契機とする。また, これらを後世に伝え, 地域の魅力を発信し, 解説できる人材を育成する。 | 地区在住者 | 6~7月 | 5回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより, 地域社会の一員としての自覚や, 地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに, 成人教育の第一歩として, 新成人が地域の人から学べる場, 地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | とみやふるさとまつり(センター文化祭) | 地域文化の発展向上と地域住民の連帯意識の高揚を図る。 | 富屋生涯学習センター利用団体及び地域住民 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上, 学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 豊郷生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

豊郷地区においては、地域まちづくり協議会の組織である各種団体が主体となり地域活動が活発に展開されている。しかし、地域住民のコミュニティ意識や連帯感の希薄化、少子・超高齢化や都市化・核家族化の進行による家庭・地域の教育力の低下など、さまざまな課題も生じている。
 このようなことから、地域の住民が郷土愛を持ち地域コミュニティの構築に結びつくような事業を推進するため、幼児から高齢者までの幅広い世代を対象に、学ぶことの喜びや仲間づくり・生きがいづくりにつながる講座を実施し、人間力の向上や家庭の教育力の向上など、地域社会を支える人づくり、学んだ成果を地域活動に活かせる地域づくりに結びつくような事業を展開する。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|-------------------------|--|----------------|--------|----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | ◎まほろば探検塾 | 地域の歴史や文化を学ぶことにより、地域の持つ魅力や課題に気づき、それを活かした地域の活動や課題解決につなげるとともに、学びを通じた仲間づくりを目指す。 | 地区内在住の成人 | 6月～11月 | 5回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | 子育て広場 | 子育ての学習やレクリエーションを通して、親子のふれあいを深め、生き生きとした親子関係を育むとともに、保護者同士の情報交換の場を提供し、子育て中の親の仲間づくりを図る。 | 就学前の幼児とその保護者 | 5月～11月 | 6回 | |
| | ◎親育ち講座 (Vスタッフ企画運営講座) | 家庭を取り巻く社会情勢が変化するなか、子育てへの自信喪失や不安感を解消することにより、家庭における親の教育力の向上を図る。 | 1～3歳の子を持つ保護者 | 9月～11月 | 3回 | |
| | イクメン応援講座 【CKP】 | 父親の育児参加を促し、父母共通した子育ての知識や技術を身につけるとともに、母親がリフレッシュし心の安定を図れる機会を提供する。 | 1～3歳の子とその保護者 | 5月～6月 | 2回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | わくわく体験教室 | 子どもの頃の体験や多くの人との出会いが、生きる力を育み人間力の向上を培うことから、学校、学年、学級を越えた仲間との交流や、生活体験・社会体験を通して自ら考え行動できる青少年の育成を図る。 | 地区内小学校3～5年生 | 5月～11月 | 6回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | とよさと元気塾 【CKP】 | 情報化、国際化、少子・超高齢化など、高齢者を取り巻く生活環境は常に変化している。そのような中で、心豊かに過ごせるよう、仲間づくり、生きがいづくりを支援するとともに、地域社会を支える人づくりを目指す。 | 地区内在住の成人 | 5月～11月 | 6回 | |
| | 成人式 | 新成人が地域のひととともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 豊郷まつり (センター文化祭) | センター利用団体の学習成果の発表 | 豊郷生涯学習センター利用団体 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 篠井生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

篠井地区は、古くから豊かな自然に恵まれ、世代間の交流を大切に、歴史と伝統が大切に守られてきた地域である。近年では、篠井ニュータウンの新たな住民も加わり、まちづくりの活動を通じて人と人との輪が広がってきた。
 しかし、篠井地区では少子化・高齢化などが地域の課題となっていることから、課題解決や地域活性化を図るため地域まちづくり組織において、平成29年度から「地域まちづくり計画(地域ビジョン)」策定に向け協議を開始し、平成30年度には将来の篠井地区のまちづくりの方針や施策事業等を決定することとしている。
 このため、平成30年度においては、地域ビジョンの策定作業とも連携しながら、地域教育の向上を図る講座、子育ての仲間づくりや家庭教育を学ぶ体験的な講座、魅力や課題を捉える地域学講座などに取り組み、地域の人材育成とともに活気ある「元気で魅力ある篠井」を目指し、地域の一体感を醸成するためコミュニティ形成を促進する。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|-----------------------|---|----------------------|-------|-----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | 輝き人生教室 | 余暇の有効活用,健康の維持促進,世代間交流を通して,健康で生きがいのある生活ができる力を身につける。 | 高齢者 | 7~1月 | 12回 | |
| | ◎地域力アップ教室 | 地域をより一層成長させるために地域を確認し,地区内にある資源・文化伝統等を新発見し,今後の地域ビジョンへと向けていく。 | 一般成人 | 7~12月 | 5回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し,生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため,学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに,その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | ワクワク子育て仲間づくり | 親子の絆や愛情を深め,心身の健康を育むとともに,受講生同士の交流を促進し,仲間づくりや子育てに必要な情報を提供する。 | 市内在住の0歳児~未就学児とその保護者 | 5~10月 | 6回 | |
| | 親と子のいろいろ学び舎 | 家庭において,子どもの教育を行うために,考え方や育て方について必要な知識や技術を身に付ける。親または親子で参加できる体験学習を通して,受講生同士の仲間づくりの場の提供をする。 | 小中学校の保護者と小 学校児童 | 5~10月 | 3回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 少年大空教室 | ふるさつを見直し,自然に関する学習活動や生活向上に関する実践を通して,青少年の健全育成を図る。また,地域の連帯感や郷土愛の精神を育む。 | 小学校児童 | 8~1月 | 6回 | |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など,地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより,地域社会の一員としての自覚や,地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに,成人教育の第一歩として,新成人が地域の人から学べる場,地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 篠井生涯学習センター文化祭 | センター利用団体の学習成果の発表と団体間の相互交流を図る。 | 篠井生涯学習センター利用団体及び一般市民 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上,学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 姿川生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

当地区の、「姿川地区将来ビジョン」に掲げた将来像(方向性)を実現するため、地域が抱えるさまざまな課題への取組みを地域と行政が協働して実現する必要がある。
 そこで、身近にまちづくりを感じてもらう内容の講座や地域の人材を多く活用する講座を開講し、地域まちづくりへの関心や参加意識を高めるとともに、地域力の向上も図っていく。
 今年度については、多文化共生の地域づくりに対応するため外国文化に触れる機会を提供する「国際理解講座」を新たに取り入れていくとともに、超高齢化社会の課題や地域の人材育成へ対応するため「シニア倶楽部」や「男の料理教室」においてよりニーズに即した内容を企画していく。
 また、「ふるさと教室」については、企業との連携講座を拡充し、より興味を抱かせる魅力的なプログラムを企画し、多くの参加者を募る。
 「親子ふれあい講座」については、充実した子育てにつなげる内容の企画を引き続き展開していく。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | |
|----------------------------------|-----------------------|---|-------------------------|--------|-----|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | |
| | 姿川歴史教室 | 「遺跡や文化財マップ」を盛り込んだ「姿川さんぽ」を活用し、当地区市民センターで「歴史教室」を開催することにより、地域の文化活動をPRするとともに、文化を創造する風土づくりや文化活動への動機づけを行う。平成30年度は、姿川地区北部の寺社をめぐる。 | 地区内一般成人 | 9月 | 1回 |
| | シニア倶楽部 | 知識の習得、趣味、レクリエーション等を通して、高齢者がその年齢にふさわしい社会的能力を高めるとともに受講生同士のコミュニケーションを図ることを目的とする。また、地域内の社会資源や人材を活用し、まちづくりの意識醸成を図るための事業展開を図り、それを通し、まちづくり活動のきっかけづくりの場を提供する。 | 一般成人 | 10月～1月 | 9回 |
| | 男の料理教室 | セカンドライフを送る男性を対象に日常的な料理講習を実施し、男女共同参画の意識の醸成と家庭生活での充実を図る。 | 地区内の一般成人 | 7月～10月 | 3回 |
| | 学習情報の発信 | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | |
| | 親子ふれあい広場 | 親と子のスキンシップを通して、いきいきとした親子関係を育むとともに、参加者同士のコミュニケーションを深め、子育てネットワークの促進を図る。 | 乳幼児とその保護者 | 6月～3月 | 10回 |
| | 青少年対象 | | | | |
| | ◎姿川ふるさと教室 | 郷土の伝承・文化自然に関する学習活動や生活向上に関する実践的活動を通し、ふるさとを見直し、地域連帯感や郷土愛の精神を深め、子どもたちの健全育成を図る。また、学んだことを地域へ情報発信する役目も担えるよう地域ジュニアリーダーとしての養成を図る。 | 地区内の小学4年生 | 7月～10月 | 5回 |
| | ★国際理解講座 | 親子で外国文化について学習することにより、外国住民と日本人住民の相互理解を促進するとともに家庭教育の充実につなげる。 | 小学1～3年生とその保護者 | 7月～8月 | 3回 |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになるとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | |
| | 姿川地区文化祭 | 特色ある地域文化の向上発展並びに生涯学習の推進、地域による主体的な地域づくりの推進、及び地域住民の連帯意識の高揚を図る。 | 地区内一般市民及び姿川生涯学習センター利用団体 | 11月 | 1回 |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 |

平成30年度 雀宮生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

雀宮地区においては、すばらしい自然、長い歴史の中で培われてきた豊かな人情と深い絆を糧に“健康で楽しく、生きがいを実感できる地域”を目指して策定された「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、まちづくりに取り組んでいる。
 このようなことから、地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域理解を促進する講座などを通して、地域社会を支える「人づくり」、「地域づくり」を進める。
 また、引き続き「学ぶ楽しさ」を感じ、「仲間づくり」につながる趣味・教養的な講座や身近な生活課題の解決に資する講座を実施するとともに、子育て世代の「保護者の気づき」や「親子双方の育ち」を支援する講座を充実させることにより、「家庭教育支援」に取り組む。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | | | |
|----------------------------------|--------------------------|---|--------------------------|--------|----|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | |
| | さわやか倶楽部(Vスタッフ企画運営講座) | 豊かな経験を引き続き社会に活かしながら、新しい知識や趣味をもつ契機となるよう学習の場を提供し、健康で生きがいのある豊かな人生を送るための支援を行う。 【うち1回をVスタッフ企画講座として実施予定】 | 雀宮地区内の60歳以上の方 | 5月～11月 | 6回 |
| | ライフアップセミナー | もっと学びたい、もっと知りたい現役世代(20歳～50歳代)の住民を対象に、現代的な課題などを興味や関心を持ちながら学習できるような場を提供し、新たなライフスタイルを送るきっかけづくりや、さらには学習を通じた新たな学びを促す機会とする。 【ターゲットとなる現役世代が参加しやすい時間帯(夜間)に実施】 【国際理解講座として実施予定】 | 雀宮地区内の一般成人 | 1月 | 1回 |
| | 雀宮の歴史を学ぶ | 地域に愛着を持ち、地域の魅力や特色を発掘し、新たな発見などまちづくり推進に向けた取組のきっかけとするため、雀宮地区の歴史、伝統文化を学習する。また、実施においては地域行事と連携し、充実を図る。 | 雀宮地区内の一般成人 | 11月 | 1回 |
| | 学習情報の発信 | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | |
| | ちゅんちゅん親子ふれあい広場(親子ふれあい編) | 親子のスキンシップを通して、よりよい子育ての知識と技能を身につけ、家庭教育支援の充実を図るほか、育児の喜びや悩みを共有できる仲間との交流を図る。 | 未就学児とその保護者 | 6月～12月 | 5回 |
| | ★ちゅんちゅん親子ふれあい広場(リフレッシュ編) | フィットネス等の活動を通して親子のスキンシップを楽しみながら、家庭の教育力向上を図るほか、リフレッシュを図りながら育児の喜びや悩みを共有できる仲間づくりを進める。 | 未就学児とその保護者 | 6月～12月 | 2回 |
| | 青少年対象 | | | | |
| | 青少年セミナー | 自然に親しむ活動やものづくり活動を通して、なかまとの連帯感や責任感を養い、次世代を担うリーダーシップ精神を育む。 | 雀宮地区内の小学4～6年生 | 7月～9月 | 4回 |
| | ★ちゅんちゅん親子チャレンジ | 親子で協力して取り組む体験の機会を提供することにより、親子の絆を深めるとともに、親同士、子ども同士の交流を通して、仲間づくりを進める。 | 雀宮地区内の小学1～3年生及びその保護者 | 7月～8月 | 1回 |
| | 地域わくわく子ども塾 | 雀宮地区の特性を活かし、宇都宮工業高等学校や陸上自衛隊宇都宮駐屯地との連携によるものづくり体験学習を通して、科学・知識・技術への関心を高め、自主性、創造性を身につけるとともに、郷土愛の精神を深め地域づくりの礎を築く人材の育成を図る。 | 雀宮地区内の小学4～6年生 | 7月、3月 | 2回 |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | |
| | ★◎ILOVE雀宮講座【CKP】 | 「NCC形成」や「雀宮地域ビジョン」の実現に向け、自分の住む地域の課題に気づき、学ぶ機会を提供することで、雀宮地区内の一般成人や雀宮地区で学ぶ高校生に、地域に対する理解や愛着を深め、まちづくりに対する意識の醸成を図る。 【うち1回をワークショップで、うち1回を大人の社会科見学として実施予定】 | 雀宮地区内の成人、高校生 | 2月、3月 | 2回 |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持つようになることとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | |
| | 雀宮地域文化祭・収穫祭 | 「ふるさと雀宮」の特色ある地域文化の向上発展と豊かな農産物の収穫を祝い、地域の連帯意識の高揚を図ることを目的とする。 | 雀宮地区内一般市民と雀宮生涯学習センター利用団体 | 11月 | 1回 |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 |

平成30年度 上河内生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

上河内地域における資源や特性、住民ニーズなどを踏まえ、個人の要望に応える事業と社会の要請に応える事業のバランスを配慮しながら、多様な事業を推進する。事業の実施にあたっては、関係部局や関係機関団体と連携を図り、とりわけ地域の課題解決や活性化につながる事業については地域まちづくり推進団体とともに取り組んでいく。

(ア)住民一人ひとりが心豊かに生活できるよう、学ぶことの喜びや社会参加のきっかけとなる趣味・教養的な講座を地域課題や生活課題を十分に盛り込みながら継続していく。

(イ)「人づくり」の基本となる家庭と地域の教育力の向上を図るため、家庭や親の役割や責任、子どもとの関わり方などについて保護者の気づきを促す講座や親子双方の育ちを支援するための講座を実施する。

(ウ)地域資源や地域の魅力を再認識し、地域のまちづくりに対する意識が高まるような地域学講座などを通して、地域社会を支える人材の発掘や育成に取り組んでいく。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|--------------------------|--|-------------------------|----------------|-----|--|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | 異国の家庭料理で多文化理解 | 市内に在住している外国人の家庭料理をいっしょに作り、食することにより相手文化に触れ、理解しあう機会をつくる。 | 市内在住・通勤の成人 | 5～7月 | 4回 | |
| | 古典に学ぶ (Vスタッフ企画運営講座) | 日本の歴史上の人物を取り上げ、その業績や時代背景を詳しく学ぶことにより、現代の課題解決につながるヒントを探る。 | 市内在住・通勤の成人 | 10月 | 4回 | |
| | ◎ライフアップセミナー in かみかわち | 時宜を得たテーマや生活上の課題について学習することにより、知識・教養を身に付け、実生活に役立てる。 | 市内在住・通勤の成人 | 7～10月 | 8回 | |
| | ライフアップセミナー in かみかわちスペシャル | ライフアップセミナーinかみかわちの特別企画として、ライフアップセミナーの受講生以外にも門戸を開き、ともに楽しみながら社会の要請に対応したテーマを学習する。 | 市内在住・通勤の成人 | 10月 | 1回 | |
| | パソコン講座 | パソコンの活用範囲を広げ、ボランティア活動及び就業の道へつなげる。 | 市内在住・通勤の成人 | 4月 6月 9月 | 12回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を積極的に収集、提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | ◎子育て親育ち講座 | 家庭や親の役割、子どものかかわり方などについて学び、また子育て中の多くの親同士の交流をとおり、子育て世代が安心して過ごせるようサポートする。 | 市内在住の満1歳以上就学前の乳幼児とその保護者 | 5月～7月 | 6回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | 子どもチャレンジ教室 | 工作等によりものを作り上げることで達成感を得、新たな発見や工夫する楽しさを知る機会を提供する。 | 市内在住の小学生とその保護者 | 7月 8月 | 2回 | |
| 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行う。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業とする。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | 上河内地域文化祭 | 地域の幼稚園、保育園、小中学校の児童生徒及び生涯学習センター利用団体の作品を一堂に展示し、またセンター利用団体をはじめ地域の方々が日ごろの学習成果をステージ発表することにより、地域文化の向上と生涯学習推進の機会とする。 | 上河内生涯学習センター利用団体及び一般市民 | 11月 | 1回 | |
| | 学習相談 | 相談者の様々なニーズに応じて情報提供や助言をするなど、学習活動を具体的に支援する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |

平成30年度 河内生涯学習センター事業計画(案)

基本方針

身近な生涯学習の拠点として様々な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに社会環境が急激に変化する中において、社会の要請に対応する事業や人間力の向上、家庭・地域の教育力の向上に資する事業に取り組んでいく。

- (ア) 地域の魅力を発見できる事業の充実を図る。
- (イ) 地域の人材等を活用した講座を実施するとともに地域で活躍できる人材の育成に努める。
- (ウ) 仲間づくりや交流の場を提供し、人と人との絆づくりを推進する。
- (エ) 人間力の向上や家庭教育力の向上に資する事業を積極的に展開する。

★:平成30年度新規事業, ◎:平成30年度重点事業, ゴシック体:Vスタッフ企画運営講座, 【CKP】:地域かがやきプロジェクト

| 重点項目 | 事業区分 | | 事業の概要 | | | |
|----------------------------------|-------------------------|--|---|------------------|----------|----|
| | 事業名 | 内容 | 対象 | 時期 | 回数 | |
| ①地域住民の学習意欲の高揚と生活の向上に資する事業の推進 | 成人対象 | | | | | |
| | かがやくセミナー | 受講生がお互いの連帯感を深め、学び合い励まし合って健康で生きがいのある人生を送れるようになることを目的とする。 | 市内在住・在勤の20歳以上の方 | 7月～1月 | 5回 | |
| | ◎美と健康きらめき講座 | 自身の健康・生活・言葉・マナーなどさまざまな分野で、女性が素敵に輝ける知識・教養を実体験を交えながら習得し、女子力アップのきっかけづくりとする。 | 市内在住・在勤の20歳以上の女性 | 6月～9月 | 3回 | |
| | 男の料理講座 | 健康を維持していくための家庭料理を習得し、料理の本だけではわからないコツや技術も楽しみながらしっかり学習し、仲間づくりのきっかけづくりを応援する。 | 市内在住・在勤の65歳以上の男性 | 11月～2月 | 4回 | |
| | 市民運営講座 (Vスタッフ企画運営講座) | 生涯学習課に登録しているVスタッフからの企画提案を活用し、活動の場を提供するとともに、様々な角度から生涯学習を推進する。 | 市内在住・在勤の20歳以上の方 | 6月～8月 10月～12月 | 3回 3回 | |
| | いきいき河内発見講座 | 河内の自然や文化等を学ぶことによって、地域の良さを再発見しながら地域活動に関心を持つ「きっかけ」づくりとする。 | 未定 | 6月～9月 | 3回 | |
| | 学習情報の発信 | | | | | |
| | 情報収集・提供 | 市民の主体的な学習活動を啓発・支援し、生涯学習に対する市民ニーズに的確に対応するため、学習施設や学習機会等の生涯学習関連情報を収集するとともに、その情報を市民に提供する。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |
| ②家庭教育支援の充実と学校や地域と連携・協力した教育活動の推進 | 子育て世代対象 | | | | | |
| | ◎ワクワク子育て講座 | 子育てに役立つ基礎知識を学ぶとともに健康で心豊かに育てる家庭環境づくりの場を提供する。※託児あり | 市内在住・在勤の就学前の子どもをもつ親 | 8月～2月 | 4回 | |
| | 子育て広場1 | 季節の行事や親子のスキンシップを通して子どもとふれあい、子育てについての情報交換の場を提供する。 | 市内在住・在勤の乳幼児とその親 | 6月～9月 | 3回 | |
| | 子育て広場2 | | | 12月～2月 | 3回 | |
| | 青少年対象 | | | | | |
| | | オモシロ夏休み | 子どもたちが仲間づくりの楽しさを学ぶとともに、学習意欲の向上を図る。 | 市内在住の小学4～6年生 | 8月 | 4回 |
| | 地域と学校が連携した教育活動の充実 | | | | | |
| | 魅力ある学校づくり地域協議会などの活動支援 | 魅力ある学校づくり地域協議会など、地域の教育力向上に取り組む団体の活動支援を行っていく。 | 地域団体 | 通年 | 随時 | |
| ③地域理解を促進する講座と学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | 地域理解の促進 | | | | | |
| | 成人式 | 新成人が地域の人とともに成人式を作り上げることにより、地域社会の一員としての自覚や、地域に育てられたことに感謝の気持ちを持てるようにするとともに、成人教育の第一歩として、新成人が地域の人から学べる場、地域へ繋がる場として教育的意義のある事業として開催する。 | 新成人 | 1月 | 1日 | |
| | 学んだ成果を活動につなげる仕組みの充実 | | | | | |
| | | 河内地域文化祭 | 河内地域内の芸術文化活動にかかわる人達が一堂に会して、相互の交流を深め、その活動を披露し、地域の芸術文化の向上に寄与することを目的として文化の祭典を実施する。 | 団体及び一般市民 | 未定 | 1回 |
| | 学習相談 | 相談者のニーズに応じた具体的な学習活動への引き上げや相談者の活動の質の向上、学習活動中の問題や悩みの解決の手助けなどを行う。 | 全市民 | 通年 | 随時 | |